

自立への一歩

平成21年9月27日

専門学校に通う17歳の少年の話です。彼は初めて西伊豆・堂ヶ島温泉1泊2日交流合宿に参加しました。目的はシーカヤックと磯釣り、食いきれないほどの海産物料理に、露天温泉三昧。10代では彼が1人だけ。あとは20代の若者が1名、30代の女性が1名、40代の女性が1名、50代の男性5名・女性1名、60代の男性1名の計11名の妙な組み合わせの合宿でした。20代の若者はNPO 静岡県教育フォーラムのリーダーで、残り私の飲み仲間、こうしたNPO活動を手伝って頂いている仲間達です。そんなメンバーながら2日前に彼にこの交流合宿を紹介したら、最初は初めて家族以外の人との旅行で嫌がっていましたが、彼の彼女から「私はお金がないから行けないけど、貴方にとってとってもいい旅行だから行ってきなさいよ。」と言われ、行く気になったのです。

話を聞くに、中学生の基礎学力が身に付いていないため、特に専門教科が分からず、かといって資格を取るためにどうしても単位を取らなければならず、そんなストレスが積み積もってパニックを起こすようになったようです。それで、近所の人で紹介で私の元に父親と共に相談に来たのが、交流合宿の10日前でした。しかし、学校側では、そうした原因を把握しているかどうかわかりませんが、兎に角病院に行かせて、突然泣き出して勉強をしなくなる症状を改善させるように保護者に話したようです。学力の二極分化と言うより、学力低低下層が異常に増えている昨今、相談の原因を調べていると、基礎学力低下がよく見え隠れします。即ち、小学校での九九を始め、漢字・計算の習得、分数の意味の理解、わり算の意味の理解・・・等、小中学校の基礎基本、原理の理解の不十分さを強く感じております。彼の場合、そこから来る自信のなさ、家族という屋根の下だけ育ってきたことにより、少し自立が育ってないように感じました次第です。そこで、急な話でしたが、今回の交流合宿参加を勧めたのです。彼女に勧められてから両親にダダをこねるほど、参加を切望する彼に驚き、お電話を頂いたお父さんに、私から彼にとってのこの合宿参加の意義を説明させて頂き、ご両親のご了解を得て、彼の参加となりました。

早朝6時過ぎに彼と合流。参加者の家を周りながら拾って西伊豆に向いました。勿論のこと、乗り込んでくる参加者は彼にとって初めて会う人で、しかもみんな年上。緊張しながらも、きちんと挨拶し、乗り込んできた私の仲間達は感心しておりました。土肥で元リーダーで現在伊豆の高校で数学を教えている教師と合流。田子瀬浜海水浴場で昼食を取りながら4時間、カヤックにカナディアンカヌー、磯釣りを楽しみました。彼はカナディアンカヌーに乗せて貰って干潮の海を渡り、向かいの島に行き、5, 6人の参加者と一緒にルアーで磯釣りを楽しんでいました。海釣りの成果はなかったものの、午後2時半を過ぎると風が吹き始めてきたために、撤収を決め片付け始めました。カナディアンカヌーと二人乗りのカヤックで搬送に向かいました。ところが、カナディアンカヌーは島近くに行っ

たものの、向かい風を大きな船体にまともに受け、1人ではなかなか進まず、仲間のところになかなか行ききれず苦難を強いられており、我々も心配してこちらの岸からその様子を見つめていました。いよいよこちらから救助に向かおうとしたところ、彼が海に飛び込み、カナディアンカヌーのところに泳いで行ったのです。カナディアンカヌーを捕まえ、引っ張り込んで乗り込み、必死に漕いで仲間のところに辿り着いたのです。そして、みんなの荷物を乗せ、途中強い風に煽られながらも、二人で漕ぎながら無事こちらの岸に到着したのです。着いた時には、みんなで拍手喝采でした。「ありがとうね、助かったよ」とカナディアンカヌーを漕いで行った仲間にお礼を言われた時の彼は、とてもたくましく見えました。おそらく専門学校の先生方がこの光景をご覧になったら、信じられなかったでしょう。

その後5、6人の参加者達と町営の露天風呂に気持ちよく入りながら、参加した大人達と話している彼の姿を見ていて、私は本当に連れてきてよかったと思いました。また、食べきれないほどの海産物が並ぶ夕食時は、彼の話題で盛り上がりました。夕食を食べながら、ニコニコしながら楽しそうに大人達の輪に入っている彼。そんな彼を見ていると、こうした経験が自立の一步になるんだなと実感しました次第です。

翌日の彼の行動はテキパキしていて、実に気持ちが良かったです。その夜、事務所のパソコンを立ち上げましたら、早速その夕方に彼がパソコンで学習したデータが私のパソコンに送られてきておりました。合宿の疲れも何のその、早速彼は勉強し始めたのです。